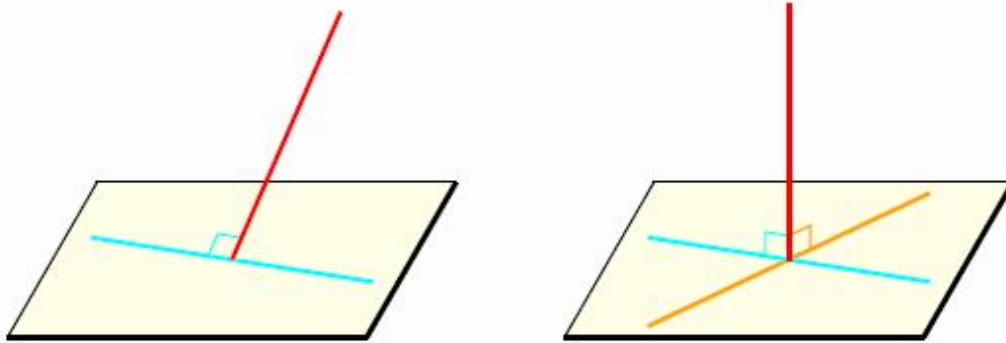


## 平面に下ろした垂線の足と四面体の体積

「平面に下ろした垂線の足」は、「直線と平面の垂直条件」を用いて求める。  
「直線と平面の垂直条件」は、「平面上の任意の2直線と垂直」である。

「1直線と垂直」だけでは「平面と垂直」が保証されない(左下図).  
「2直線と垂直」ならば、「平面と垂直」が保証される(右下図).

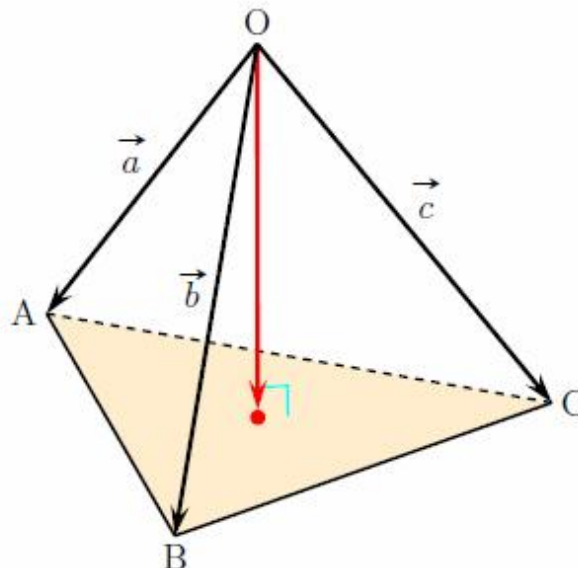


空間ベクトルの問題では、次のように考えて条件を立式する。

$$OH \perp \text{平面 } ABC \iff \vec{OH} \perp \vec{AB} \text{ かつ } \vec{OH} \perp \vec{AC}$$

1辺の長さが2の正四面体  $OABC$  において、頂点  $O$  から平面  $ABC$  に下ろした垂線の足を  $H$  とし、 $\vec{OA} = \vec{a}$ ,  $\vec{OB} = \vec{b}$ ,  $\vec{OC} = \vec{c}$  とする。

- (1)  $\vec{OH}$  を  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$ ,  $\vec{c}$  で表せ。      (2) 体積  $V$  を求めよ。



(1) 点 H は平面 ABC 上にあるから

$$\vec{OH} = s\vec{a} + t\vec{b} + u\vec{c} \quad (s+t+u=1)$$

$\vec{OH} \perp \vec{AB}$ ,  $\vec{OH} \perp \vec{AC}$  より

$$\vec{OH} \cdot \vec{AB} = (s\vec{a} + t\vec{b} + u\vec{c}) \cdot (\vec{b} - \vec{a}) = 0$$

$$\vec{OH} \cdot \vec{AC} = (s\vec{a} + t\vec{b} + u\vec{c}) \cdot (\vec{c} - \vec{a}) = 0$$

$$\text{よって} \quad -s|\vec{a}|^2 + t|\vec{b}|^2 + (s-t)\vec{a} \cdot \vec{b} + u\vec{b} \cdot \vec{c} - u\vec{c} \cdot \vec{a} = 0$$

$$-s|\vec{a}|^2 + u|\vec{c}|^2 - t\vec{a} \cdot \vec{b} + t\vec{b} \cdot \vec{c} + (s-u)\vec{c} \cdot \vec{a} = 0$$

$$\text{ここで} \quad |\vec{a}|^2 = |\vec{b}|^2 = |\vec{c}|^2 = 4$$

$$\text{また} \quad \vec{a} \cdot \vec{b} = \vec{b} \cdot \vec{c} = \vec{c} \cdot \vec{a} = 2 \cdot 2 \cdot \cos 60^\circ = 2$$

$$\text{よって} \quad -s+t=0, \quad -s+u=0 \quad \text{より} \quad s = \frac{1}{3}, \quad t = \frac{1}{3}, \quad u = \frac{1}{3}$$

$$\therefore \vec{OH} = \frac{1}{3}\vec{a} + \frac{1}{3}\vec{b} + \frac{1}{3}\vec{c}$$

$$\begin{aligned} (2) |\vec{OH}|^2 &= \left| \frac{1}{3}\vec{a} + \frac{1}{3}\vec{b} + \frac{1}{3}\vec{c} \right|^2 \\ &= \frac{1}{9}|\vec{a}|^2 + \frac{1}{9}|\vec{b}|^2 + \frac{1}{9}|\vec{c}|^2 + \frac{2}{9}\vec{a} \cdot \vec{b} + \frac{2}{9}\vec{b} \cdot \vec{c} + \frac{2}{9}\vec{c} \cdot \vec{a} \\ &= \frac{1}{9} \cdot 4 + \frac{1}{9} \cdot 4 + \frac{1}{9} \cdot 4 + \frac{2}{9} \cdot 2 + \frac{2}{9} \cdot 2 + \frac{2}{9} \cdot 2 = \frac{24}{9} \end{aligned}$$

$$\text{よって} \quad |\vec{OH}| = \frac{2\sqrt{6}}{3}$$

$$\text{ここで} \quad \Delta ABC = \frac{1}{2} \cdot 2 \cdot 2 \cdot \sin 60^\circ = \sqrt{3}$$

$$\therefore V = \frac{1}{3} \cdot \Delta ABC \cdot OH = \frac{1}{3} \cdot \sqrt{3} \cdot \frac{2\sqrt{6}}{3} = \frac{2\sqrt{2}}{3}$$

点 H は「平面 ABC 上にある」「直線 OH と平面 ABC が垂直」の 2 条件で定まる。

まず、平面上にある条件から、 $\vec{OH}$  を実数  $s, t, u$  を用いて設定する。

この  $\vec{OH}$  を用いて、垂直条件を立式する。

基本ベクトルの大きさと内積の値を代入して連立すると、 $\vec{OH}$  が求まる。

内積の値は定義から求める。  $\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos \theta$  (平面と同じ)

三角形は、 $|\vec{a}|, |\vec{b}|, \vec{a} \cdot \vec{b}$  の 3 要素で決定した。

四面体は、 $|\vec{a}|, |\vec{b}|, |\vec{c}|, \vec{a} \cdot \vec{b}, \vec{b} \cdot \vec{c}, \vec{c} \cdot \vec{a}$  の 6 要素で決定する。

よって、空間図形の計量をベクトルで行う場合、原則この 6 要素の値が必要になる。

本問は、正四面体であるから、大きさと内積はそれぞれ全てが一致する。

体積を求めるには、垂線の長さ (垂線ベクトルの大きさ) が必要である。

$|\vec{OH}|$  は、一旦 2 乗して展開し、内積の値に帰着させる。

3 つのベクトルの和を展開するとき、次の展開公式を用いる (要暗記)。

$$\text{展開公式} \quad (a+b+c)^2 = a^2 + b^2 + c^2 + 2ab + 2bc + 2ca$$

本問では、 $\frac{1}{9}|\vec{a} + \vec{b} + \vec{c}|^2$  とすべきだが、一般の場合を考えて丸ごと 2 乗した。

底面は正三角形であるから、底面積は三角比の公式により直ちに求まる。

4点  $O(0, 0, 0)$ ,  $A(0, -1, 2)$ ,  $B(-1, 0, 5)$ ,  $C(1, 1, 3)$  を頂点とする四面体の体積  $V$  を求めよ。

頂点  $O$  から底面  $ABC$  に下ろした垂線の足を  $H$  とすると

$$\vec{OH} = s\vec{OA} + t\vec{OB} + (1-s-t)\vec{OC}$$

$$\begin{aligned}\vec{OH} &= s(0, -1, 2) + t(-1, 0, 5) + (1-s-t)(1, 1, 3) \\ &= (-s-2t+1, -2s-t+1, -s+2t+3)\end{aligned}$$

$\vec{OH} \perp \vec{AB}$ ,  $\vec{OH} \perp \vec{AC}$  より

$$\begin{aligned}\vec{OH} \cdot \vec{AB} &= (-s-2t+1, -2s-t+1, -s+2t+3) \cdot (-1, 1, 3) \\ &= -(-s-2t+1) + (-2s-t+1) + 3(-s+2t+3) \\ &= -4s+7t+9=0\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\vec{OH} \cdot \vec{AC} &= (-s-2t+1, -2s-t+1, -s+2t+3) \cdot (1, 2, 1) \\ &= (-s-2t+1) + 2(-2s-t+1) + (-s+2t+3) \\ &= -6s-2t+6=0\end{aligned}$$

よって  $s = \frac{6}{5}$ ,  $t = -\frac{3}{5}$  より  $\vec{OH} = \left(1, -\frac{4}{5}, \frac{3}{5}\right)$

ゆえに  $|\vec{OH}| = \sqrt{1^2 + \left(-\frac{4}{5}\right)^2 + \left(\frac{3}{5}\right)^2} = \sqrt{2}$

また  $\Delta ABC = \frac{1}{2} \sqrt{|\vec{AB}|^2 |\vec{AC}|^2 - (\vec{AB} \cdot \vec{AC})^2}$

$$= \frac{1}{2} \sqrt{(\sqrt{11})^2 \cdot (\sqrt{6})^2 - 4^2} = \frac{5\sqrt{2}}{2}$$

$$\therefore V = \frac{1}{3} \cdot \Delta ABC \cdot OH = \frac{1}{3} \cdot \frac{5\sqrt{2}}{2} \cdot \sqrt{2} = \frac{5}{3}$$

**座標空間上の四面体の体積** を求めるパターン問題である。

自分で基本ベクトルを設定するわけだが、本問の場合の始点は  $O$  しかないだろう。3変数で設定すると大変そうなので、最初から  $u$  を消去した形で  $\vec{OH}$  を設定した。計算を成分で行っていく以外の手順は全く同じである。

$|\vec{OH}|$  は、 $\vec{OH} = \frac{1}{5}(5, -4, 3)$  として計算すると楽になる。

$$|\vec{OH}| = \frac{1}{5} \sqrt{5^2 + (-4)^2 + 3^2} = \frac{1}{5} \cdot \sqrt{50} = \frac{1}{5} \cdot 5\sqrt{2} = \sqrt{2}$$

ちょっとした工夫により、計算ミスが減り、時間的なゆとりが生じる。

本番で突然できるはずはないので、普段から意識を高めておく必要がある。

底面積は、**三角形の面積のベクトル表示**(要暗記) を用いて求める。

なお、座標空間上の点を与えられた場合、無理して正確に図示しなくてもよい。

本問でも、4点が四面体を作るイメージさえできていれば、図示する必要すらない。

さて、空間の成分は、縦に書くとみやすい。特に、内積はわかりやすい。

$$\begin{pmatrix} -s-2t+1 \\ -2s-t+1 \\ -s+2t+3 \end{pmatrix} \cdot \begin{pmatrix} -1 \\ 1 \\ 3 \end{pmatrix} = -(-s-2t+1) + (-2s-t+1) + 3(-s+2t+3)$$

原点Oから3点A(1, 0, 0), B(0, 2, 0), C(0, 0, 3)を通る平面に下ろした垂線の足をHとする.

(1) 点Hの座標を求めよ.

(2)  $\triangle ABC$ の面積 $S$ を求めよ.

(1) 点Hは平面ABC上にあるから

$$\vec{OH} = s\vec{OA} + t\vec{OB} + u\vec{OC} \quad (s + t + u = 1)$$

$$\vec{OH} = s(1, 0, 0) + t(0, 2, 0) + u(0, 0, 3) = (s, 2t, 3u)$$

$\vec{OH} \perp \vec{AB}$ ,  $\vec{OH} \perp \vec{AC}$  より

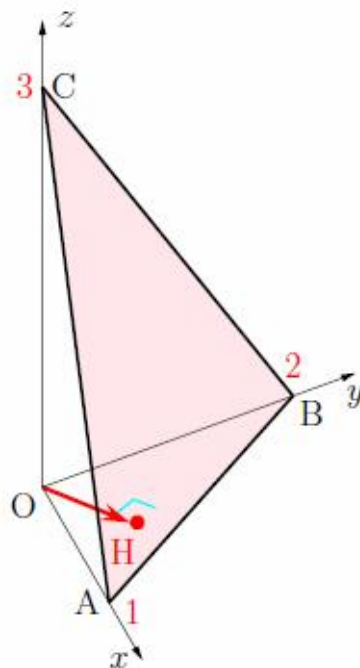
$$\vec{OH} \cdot \vec{AB} = (s, 2t, 3u) \cdot (-1, 2, 0) = -s + 4t = 0$$

$$\vec{OH} \cdot \vec{AC} = (s, 2t, 3u) \cdot (-1, 0, 3) = -s + 9u = 0$$

よって  $s = \frac{36}{49}$ ,  $t = \frac{9}{49}$ ,  $u = \frac{4}{49}$

ゆえに  $\vec{OH} = \left( \frac{36}{49}, \frac{18}{49}, \frac{12}{49} \right)$

$$\therefore H \left( \frac{36}{49}, \frac{18}{49}, \frac{12}{49} \right)$$



(2)  $OH = |\vec{OH}| = \frac{6}{49} \sqrt{6^2 + 3^2 + 2^2} = \frac{6}{7}$

四面体OABCの体積を $V$ とする.

$\triangle OAB$ を底面とみると  $V = \frac{1}{3} \times \triangle OAB \times OC = \frac{1}{3} \times 1 \times 3 = 1$

$\triangle ABC$ を底面とみると  $V = \frac{1}{3} \times S \times OH$

$$\therefore S = \frac{3V}{OH} = \frac{3 \cdot 1}{\frac{6}{7}} = \frac{7}{2}$$

前問と全く同じである. 成分に0が多いので,  $u$ を用いた形で設定した.  
連立方程式は, まず  $t = \frac{s}{4}$ ,  $u = \frac{s}{9}$  を  $s + t + u = 1$  に代入して  $s$  を求める.

(2) は, 三角形の面積のベクトル表示で求めることも可能である.

しかし, 本問では **体積を2通りに表す** 方法で求めよう.

垂線OHの長さは,  $\sqrt{\left(\frac{36}{49}\right)^2 + \left(\frac{18}{49}\right)^2 + \left(\frac{12}{49}\right)^2}$  などとすると地獄絵図になる.

$\vec{OH} = \frac{6}{49} (6, 3, 2)$  としてから大きさを求める.

$|\vec{OH}|^2 = \left(\frac{6}{49}\right)^2 (6^2 + 3^2 + 2^2)$  であるから, 結局  $\frac{6}{49}$  の2乗の計算は必要ない.

なお, 本問の3点は, **座標軸上の点であるから図示が容易** である.

このような場合は, **積極的に座標空間に図示** してみよう.